平成18年	E度(対1.	7年度実績)		事	務	事	業	評	価	表	作	成日 平成 18 :	年 7 月 12 日
部局名 安全環境部 所属名			生活安全	課			所属	長名	宍倉 泰雄	電	: 話 483-1151 内統	泉:3110	
1. 事務	事業の位	置付け・概要	更(P I	_ A N )									
コード	3784	事務事業名称	市民組	l織助成事	業						短網	縮コード 経常 3°	784 臨時 3838
予算区分	会計 01	一般会計		款 02	総務費			項	01	総務管理費	E	13 地域振興費	<u> </u>
区 分				根抄	八千代市補助金交付規則,八千代市市民組織補助金交付要 根拠法令等 網					補助金交付要綱、	八千代市自治会連合	会補助金交付要	
事業概要	(事務事業を	を開始したきっかり	ナを含めて	記入)									
	†する助成制 €4月交付要紀		こり、開始	いしていて、	市民組織	哉活動の健	全育成及	び地域を	土会づく	くりの活動に	対して支援してい	る。	
事務事業を	を取り巻くね	犬況の変化 又、⁴	今後の変化	この推測			5本(	の柱(章)	) (	6 計画推演	進のために		
ティの希薄		ている。また、者か、自治会等の沿					大項	[目(節)	C	パート	ナーシップによるī	市政運営と市民自治	の推進
いる。						総 合 計	中	項目	C	1 パート	ナーシップによるこ	まちづくりの推進	
						画の施策	小項目	目(施策)		3 コミュ	ニティづくりの推済	進	
						体系	体		C	3 自治会	等の活動への支援		
							- Ina		, and the second			コミュニティの推進	
								計画の画事業	<i>い</i>	05 コミュ	ニティ情報化支援 <u></u> 	<b>事</b> 業 	
計画事業の	)位置付けの	有無		計画:	事業期	間		~		Ē	十画事業費		千円
2. 事務	  事業の	目的・指標・	実績(	DO)									
対象 (誰を何を ているのか		①自治会											
		※平成17年度に実 ①自治会への市 ②自治会連合会	民組織補具	助金を世帯									
手段 (具体的な のやり方、 細)		※平成18年度に計 自治会への市民 八千代市自治会	組織補助	金を交付す									
意図 (何を狙っ か)	ているの	自治会の活動が日	円滑に運営	含されてい	る。								
結果	:果に結び v)	自治会活動が活	発になる。	,									
区分							単位	1	6年度 実績	1 7	7年度 実績	18年度計画	
	指標 1	自治会数					寸	体		226	230		235
対象指標													
	指標3												
	指標 1	1 市民組織補助金を交付した自治会					ব	体		222	230	221	235
活動指標	指標 2												
	指標3	3											

円滑な自治会活動をしている自治会

指標 1

指標2

指標3

指標 1

指標2

指標3

成果指標

上位成果指標

226

団体

230

227

235

<b>⊐</b> –	· F (	3784	事務事業	<b>美名称</b>	市民組織助成事業		所属名	生活安全課	
単位				単位	1 6年度	1.7		18年度	
				平位	実績	計画	実績		計画
			国	千円					
	財源内訳		県	千円					
		]訳	地方債	千円					
_			一般財源	千円	20, 241	14, 700		14, 420	21, 425
事 業 費			その他	千円	0	0			0
費 (A)	主な事業費の内訳				市民組織補助金 16,973千円 自治会連合会補助金 733千円	補助金 14,700千円	市民組織補助金 14,120千円 自治会連合会補助。 300千円	<b>金</b>	補助金 21, 377千円
人件費(B) 千円			千円	13, 143	13, 086		14, 146	14, 394. 6	
ト — タ ル コ ス ト (A) + (B)			千円	33, 384	27, 786		28, 566	35, 819. 6	

## 3. 事務事業の評価(SEE)

3.	事務事業の評価(SEE)							
評価 類型	評価事項	評価区分	理由					
目的妥当性		☑ 結び付いている	市民組織へ補助金を交付することで、市民活動が活発になっている。					
	①事業目的が上位の施策に結びつ いているか?	□ 結び付くが見直しの余地がある						
		□ 結びつきが弱い・ない						
		□ 評価対象外事項						
		□ 達成している	市民組織が今後も活発に活動するために、補助金の交付を続ける必要がある。					
	②すでに所期目的を達成しているか?	☑ 達成していない						
	※「達成している」を選んだ場合、⑥ に進んでください。	□ 評価対象外事項						
	③民営化で目的を達成できるか?	□ 可能性はある	市民組織に対する補助事業のため民営化できない。					
	※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。	☑ 可能性はない						
	(民間委託は、権限に属する事務事業 等を委託することで、民営化とは異な る。)	│ │						
	④「対象」・「意図」の設定は現 状のままで良いか?	☑ 現状のままでよい	市内には多くの自治会があり、多数の住民が自治会に加入している現状から、対象及び意図共に合致していると考える。					
		□ 見直す必要がある						
		□ 評価対象外事項						
		□ 有効性向上の可能性がある	市民組織に対する助成事業であり、現状では、各自治会が補助金を有効・効率的に運用している。					
	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか? 可能性がある場合は、⑤-2, 3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記	□ 効率性向上の可能性がある						
		□ 両方可能性がある						
	入する。 	☑ 可能性がない						
有	⑤ - 2 有効性や効率性を向上させる手段は何か? 該当する手段を選択し、 具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直してある場合は、該当する場合は、	□ 民間委託等						
		□ 臨時的任用職員等の活用						
· 効率 性		□ IT化等業務プロセスの見直し						
		□ 受益者負担の見直し						
		□ 類似事業との統合・役割見直し	類似 事務 実施主体 (所管部署)					
		□ 上記以外の方法	事業 実施主体   名称 2   (所管部署)					
	5-3 推進にあたっての課題はあ るか?(一時的な経費増・市	□ ある						
	民の理解等)	口ない						

<b>⊐</b> -	- ド 3784 事務事業名称	市民組織助成事業	<b>所属名</b> 生活安全課						
今後の方向は	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。		地域住民が互いに連携し地域のため、市全体のために活動することは市にとっても有効な活動であり、そうした活動のために補助金を継続して交付する必要がある。						
性		経費 市民組織会員の 金は有効であり	)負担を上げずに市民組織活動を維持していくためには、補助 ) 今後も必要						
	     ⑦この事務事業の今後の経費・成果	削減不変増加	7 7 仅 0 20 安。						
	の方向性について選択し、右欄に理 由を記載する。	成							
	шспщ у о∘	果							
		低下口口口							
※内	この事務事業に対する市民や議会の意見(担当者が把握している意見) ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など 自治会費等の自治会員負担を上げずに、市民組織活動をもっと活発に行なうため、補助金の増額を要望されている。								
所属長コメント	属 長 コ メ メ								
	□ 改革改善して継続 現	犬のまま継続。							
評価調整委	<ul><li>□ 手法プロセスの改革・改善</li><li>□ 事業規模の拡大・縮小</li><li>□ 統合・役割見直し</li><li>□ その他</li></ul>								
委員会意見	□ 廃止								
意見	□ 休止								
	☑ 現状のまま継続								